

[redacted] 高等学校
教育実習 研究授業 国語科指導案

■日時：令和2年 9月17日 (木) 二限

■場所：2年3組 HR教室

■学習者：2年3組 (男子11名・女子29名 計40名)

■授業者：[redacted]

■指導教諭：[redacted]教諭

■単元名：『山月記』 中島敦 第一出版 高等学校 現代文B

27頁6行目「おれの中の人間の心がすっかり消えてしまえば」から

■教材観

中島敦のデビュー作『山月記』は中国の怪奇伝『人虎伝』を基としており、自己を投影させ、知識人の自意識の痛みをテーマに強い自負心をもつ苦悩を描いている。

虎と化した李徴の告白には、人間存在の不条理性、過剰な自意識に悩む様子が描き出されている。自分をも損ないかねない「猛獣」は誰の内部にもあり、その「猛獣」を飼いふとらせてしまった結果、李徴は虎となる。李徴の虎になってしまうまでの生き方や考え方を学ぶことを通して、自身の内面に目を向けることで自分と向き合い、自らを振り返るきっかけにつなげたい。

■生徒観

多くの生徒が素直で授業態度は真面目である。問いかけや示されたことに関しても答える事はできるが、生徒によって反応速度がバラバラで授業の理解度の差が大きいと思われる。また自律的・積極的に考え、物事に取り組むことが苦手で国語の授業においても自発的な読解に苦戦する。

■指導観

『山月記』は人間が虎に化けるという虚構がおもしろさの要になっている。基となっている唐代の伝奇『人虎伝』では、人間が虎になる怪異を語ることに主眼が置かれているのに対し、『山月記』では虎になった主人公李朝の苦痛・悲哀に主眼が置かれている。本作品は李徴の告白が中心となってストーリーが展開しており、その告白は作品の主題となる人間存在の意味や自意識の問題を読者に問いかけている。李徴の心理を追い、読み取らせることで、これらの主題を導き出していきたい。

■単元目標（全八時間）

- ・小説の構成を確認するとともに、主人公が自分の言葉にうながされて自己分析を行う過程を把握する
- ・漢文的な表現が醸し出す独特の雰囲気味わう
- ・いくつか出てくる対比構造が理解できる
- ・主人公李徴の生き方や考え方について自分との類似点、相違点や自分が共感できるまたはできない考えについて、意見の交流を行うことを通して主人公の心情理解を深めることができる
- ・質問したり、反論したりして議論する中で、自分の主張を深めることができる

■言語活動

- ・ペアワーク（問いに関する相談）
- ・グループワーク
- ・ディベート

■評価の観点

ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断・表現	ウ 知識・理解
① 作者や作品 ・李徴の心情を的確に読み取ることができている ・作品の構造を把握しようとしている ・前時の内容を覚えている	① ディベート（主張） ・自らの考えをしっかりと整理し、主張できている ② ディベート（質問） ・相手側からの質問に対して相手の言葉も引用しつつ、適切に返せている ・相手側の主張を聞き疑問点や矛盾点などから簡潔に質問できているか	① 言葉 ・言葉の意味や読みをきちんと理解できている ② 台本作成 ・辞書などを活用して、適切な言葉を選び、討論の台本をつくることできる

■本時の指導（第五回目）

（１）目標・めあて…作品についての理解を深め、自らの考えを順序立てて伝えることができるようになる。反対側の主張を客観的に判断し、根拠を持って反論できる。

（２）展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価
導入 2~3分	・グループの形に変更 〈復習〉	・6人グループの形 ・普段の生活と山月記との関連話	ア-① ウ-①
展開 3~4分 10分 全30分	〈ディベート方法、内容の確認〉 ①肯定派の立論（3分） ②否定派の立論（3分） ③作戦タイム（3分） ④否定派から肯定派へ質問（1分） ⑤肯定派の答弁（4分） ⑥肯定派から否定派へ質問（1分） ⑦否定派の答弁（4分） ⑧作戦タイム（2分） ⑨肯定側最終弁論（2分） ⑩否定側最終弁論（2分） ⑪判定者相談、判定（5分） 〈主張の作成〉 ・グループの同じ主張の生徒たちと話し合い ・できるだけ多くの根拠を見つける 〈ディベート〉	〈ディベート方法について〉 ・1グループ6~7名、全6グループ（欠席により前後） 肯定派側 2名（3名） 否定派側 2名（3名） 判定者 2名 計6（7）名 ・判定者の決め方…グループの前列2人 ・納得させることが目的であることを伝える 〈評価基準〉 ・相手側に配慮した話し方、聞き方 ・チームワーク ・質問に対しての効果的な反論、応答 ・的確な質問 ・相手側がどんな主張をしてくるかに関係しても考えさせる ・机間巡視をしながら困っているグループがないか確認 ・判定者も自分が割り振られた側の話し合いに参加	ア-① イ-① イ-② ウ-②

3分	○肯定派の立論 ・「教科書の〇〇を根拠として～」	・時間管理、切り替えさせる タイマー必要	ア-① イ-①
3分	○否定派の立論	・机間巡視をしながら困っているグループがないか確認	イ-② ウ-②
3分	○作戦タイム（質問を考える）	・水掛け論、感情論になっている場合指摘 ・メモを取るよう指示	
1分	○否定派から肯定派への質問 ・「～とはどういうことか」 ・「～について教えてください」		
4分	○肯定派の答弁 ・答える		
1分	○肯定派から否定派への質問		
4分	○否定派の答弁 ・答える		
2分	○作戦タイム		
2分	○肯定側最終弁論		
2分	○否定側最終弁論		
5分	○判定者相談、判定	・いくつかのグループに判定の決め手となった主張や根拠を述べてもらい全体共有を行う	
まとめ 2分	・総評	・批判的思考力について	

「山月記」 デイゼット用ワークシート

名前 ()

☆テーマ

李徴は虎になったことを心の底から後悔しているのか

○自分の主張 (している ・ していない)

理由または根拠 (○○ページの〴〵を根拠として…)

他の人の考え (反対側の主張)

○最終判定 (討論の結果)

李徴は虎になったことを後悔 (している ・ していない)

○全体を通じた感想 (主張の変化や記憶に残っている根拠など)